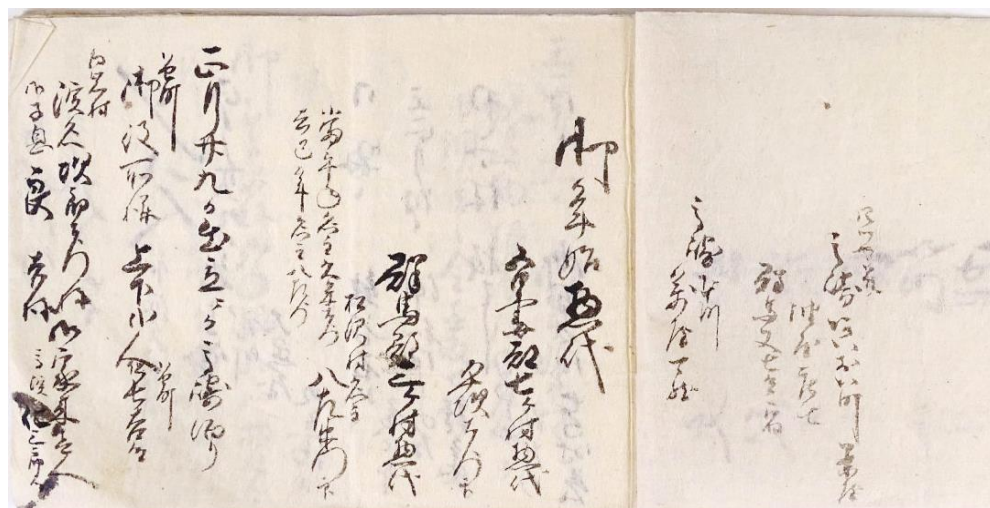
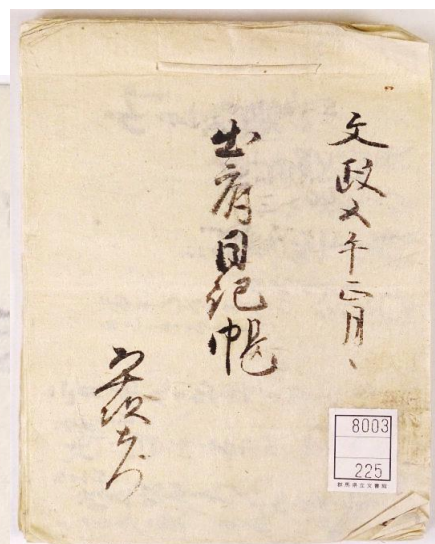




【10】出府日記帳（年頭挨拶）

〔表紙〕

〔表紙〕

文政五年正月日

出府日記帳

平次右衛門

四ツや井

高崎あいおい町茶屋

油屋庄七

群馬又七殿へ宿

高崎本町

萬屋可然

御年始惣代

吾妻郡七ヶ村惣代

平次右衛門印

群馬郡三ヶ村惣代

松沢村名主

八左衛門印

当年名主久米右衛門

去巳年名主八左衛門

正月廿九日出立^二高崎泊リ

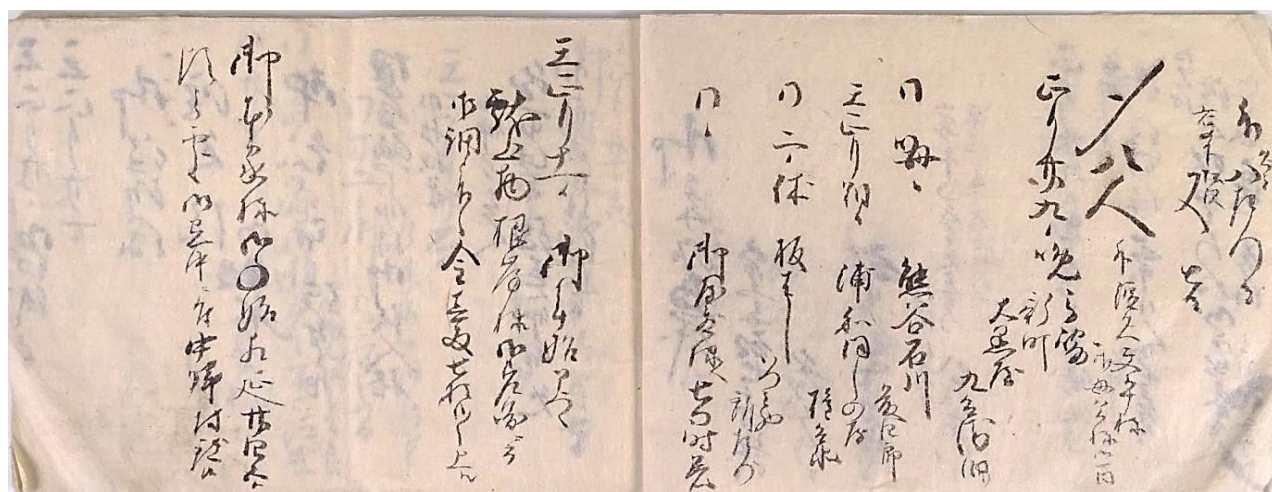
いせ町

御役所様 上下式人但、長吉殿

白岩村

濱名次郎右衛門様 御家来老人

御子息良 吉様 高濱仁三郎



⑩ 出府日記帳（年頭挨拶）

文政5年（1822）～
原本：縦12.5cm×横17.0cm

岩井村（東吾妻町岩井）名主の伊能平次右衛門が、旗本保科氏の江戸屋敷へ年始の挨拶に何う行程が記されています。

保科氏の上州の知行所は、岩井村を含む吾妻郡に7か村と群馬郡に3か村ありました。岩井村の平次右衛門と松野沢村（高崎市箕郷町松之沢）名主の八左衛門がそれぞれの惣代として出府します。正月29日に立立し、高崎に泊まり、晦日に熊谷、翌閏正月朔日に浦和、2日に板橋で休憩し、同日江戸屋敷に到着しています。年始の挨拶は閏正月11日に行われたようです。



吾妻郡東吾妻町岩井 伊能光雄家文書
P8003・No.225

名主

外 八左衛門殿

松の下松沢

又 七殿

八人 外濱名文平様

御母公様御一同

正月廿九日晚^{高崎}

大黒屋

九兵衛泊リ

同日

熊谷石川

藤四郎

閏正月朔日

浦和ほしの屋

権兵衛

同二日休

板はし

いつみや

同日

御屋敷様へ七ツ時着

閏正月十一日 御年始申上候

献上物 根岸様御差図^二

御調被下候金老両七拾式文上^ル

御本家様御年始相延、廿四・五日頃之処御忌中ニ付、中帰村致候

（吾妻郡東吾妻町岩井 伊能光雄家文書

P8003・No.225）